

大仙市地域おこし協力隊募集ミッション

受入課：企画部広報広聴課

活動内容：シティプロモーションに関する活動

解決したい課題：寡少な市の特産品、伝わる・響く発信と宣伝

- ・市をPRする資源候補となる素材は存在するものの「魅せ方」が下手なため魅力が伝わっていない。
- ・時代の変化に合わせた、さまざまな人に届く情報の発信方法が確立できていない。

目指すビジョン：住民自身が誇れる自慢のまちづくりとそれによる観光客や移住者の誘致

- ・「大曲の花火」の知名度に続くPR資源を発掘、育成、発信することによりシビックプライドの醸成につながる。
- ・効果的な情報発信により、インバウンドを含む観光客や移住者、ふるさと納税寄付者の増加が期待される。

協力隊に期待すること（ミッション）

（既存資源を新たなPR資源として「魅せる」、）

- ・移住者の目線（外から見た大仙市）で、日常に埋もれているモノや施設、農産物等の既存資源を、新たなPR資源として全く新しい価値観と発想で活用（開発）する。その素材をさらにいかすため、パッケージデザインや宣材写真で「魅せる、ことも重視し、伝わる・響くPR活動を行う。すでに商品化されている素材についても、企業や事業主と共同して特産品化を探る（ふるさと納税返礼品等）。

（市ホームページ、市公式SNSアカウントからの情報発信）

- ・移住者の目線から、だいせん暮らしなどを取材するとともに、情報を市公式SNSアカウントから発信する。併せて、市ホームページ内のシティプロモーションサイト「まいにちがだいせん日和り」の更新を含むサイト運営を行う。

（市の施設を活用したイベントをプロデュース）

- ・自身のこれまでの職歴や経験をもとにした、市民と交流するためのイベントをプロデュース。
- ・各地域のイベントや住民との交流活動に参加し、市全体の実情を把握するとともに、今後の活動につながるネットワーク作りを行う。

求める人物像

- ・パッケージデザインや販売戦略等に関する職歴や経験がある。（または知識を有している）
- ・移住者の目線から地域の取材を行うとともに、SNSおよびホームページを活用して効果的にPRする方法を修得している。
- ・撮影した写真等をSNS発信用として、多くの人の目を引き付ける宣材資料に編集できる。